

読書ナビ

オリンピック・スポーツ・人間

第40回

コミュニティ福祉学部教授・沼澤秀雄



- 1 ジム・パリー、ヴァシル・ギルギノフ著 舛本直文訳・著
「オリンピックのすべて：古代の理想から現代の諸問題まで」(大修館書店 2008年)
- 2 マイケル・ペイン著 保科京子、本間恵子訳
「オリンピックはなぜ、世界最大のイベントに成長したのか」(グランドライン 2008年)
- 3 ヴィヴ・シムソン、アンドリュウ・ジェニングズ著 広瀬隆監訳
「黒い輪：権力・金・クスリ オリンピックの内幕」(光文社 1992年)
- 4 多木浩二著
「スポーツを考える：身体・資本・ナショナリズム」(ちくま新書 047)(筑摩書房 1995年)
- 5 西山哲郎著
「近代スポーツ文化とはなにか」(世界思想社 2006年)
- 6 谷口源太郎著
「スポーツ立国の虚像」(スポーツを殺すもの/谷口源太郎著：part2)(花伝社 2009年)
- 7 広瀬一郎著
「スポーツマンシップ立国論」(小学館 2010年)
- 8 ロジェ・カイヨワ著 多田道太郎、塚崎幹夫訳
「遊びと人間」(講談社学術文庫 920)(講談社 1990年)
- 9 ヨハン・ホイジンガ著 高橋英夫訳
「ホモ・ルーデンス」(中公文庫)(中央公論社 1973年)
- 10 J. ピアジェほか著 赤塚徳郎、森林監訳
「遊びと発達の心理学」(心理学選書 4)(黎明書房 2000年)

今年の夏、4年に一度のスポーツの祭典であるオリンピックがロンドンで行われた。現地とは8時間の時差があったためメインの試合は深夜になり、毎日、眠い目をこすりながら日本選手を応援した。今大会のテーマは、Inspire a generation 日本語訳が難しいが、「世代を超えて感動を引き起こそう!」といったところか。ヨーロッパが経済不安を抱えるなかで、また、世界中から集まる選手、役員や観戦客にたいして、万全な警備が必要だったことを考えると、オリンピック組織委員会は大変な苦労があったはずである。しかし、委員会はオリンピックを契機にして、若者の生き方を環境と精神の両面から変えようというビジョンを持って乗り越え、大会を成功させた。スポーツによるこのような教育的な考えは近代オリンピックを作り上げた、ピエール・ド・クーベルタ

ンの思想と相通じるものがある。なにをかくそうロンドンは今度3度目の開催であり、そもそもイギリスはサッカー、ラグビー、テニス、ゴルフ、クリケットなど様々なスポーツの発祥の地なのである。スポーツの主導権を握るヨーロッパの中心都市で行われたロンドンオリンピックは、イギリス国民にとってもホストとしての誇りと威厳をかけた大会だった。私はロンドンオリンピックを観ていて、Inspireするオリンピックとは何なのか？スポーツとは何か？人間とはなにか？を考えたくなった。

今回取り上げた本は、オリンピックを歴史的、文化的に説明したもの、スポーツとは何かを分析し問題点を追求したもの、そして人間の本質に迫る、古典の著作である。スポーツの話題についていきたい方は一読をお勧めする。

※3は購入予定です。その他の資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

INFORMATION

「しおり(新座図書館 ラーニング・commons)」に決定しました!



2012年4月にオープンした新座図書館2階グループ学習スペースの正式名称が、学内公募により決定しました。多数の応募をいただき、ありがとうございました。「しおり」という言葉は、本

や図書館をイメージしやすく「案内書」といった意味があります。「知の森(学習・図書館)」のサポート(案内)ができる場所として、親しみを持ってもらえるようにという願いをこめて、この名称を選びました。「しおり(新座図書館 ラーニング・commons)」は、みなさんの学習のサポートをするために色々な仕組みを取りそろえています。ぜひ、活用してください。

Your Library 第21号(通号80) 発行日 2012年10月22日

編集 井川 充雄(図書館副館長) <http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/>
 発行人 石川 巧(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2630
 発行 立教大学図書館

立教大学図書館モバイルメニュー

- 1 蔵書検索
- 2 開館スケジュール
- 3 図書館設置PC利用状況の確認
ができます。



YOUR LIBRARY

AUTUMN ISSUE 2012.10.22 no.21



読書ナビ
沼澤秀雄教授
(コミュニティ福祉学部)



Take Free

さようなら
図書館本館 学系図書館
今までありがとう

さようなら 図書館本館 学系図書館 今までありがとう



図書館本館

11月6日
閉館



メディアライブラリー 7号館



閉館

自然科学系 図書館

4号館

学生の
コメント



実験の予習やレポート課題と戦うためによくお世話になりました。小規模ながら学内のどの図書館よりも静かで空いていて、快適な場所でした。(理系は最終学年までゼミがないため。)居心地が良く、落ち着いた気持ちになれるお気に入りの空間でした。
(理学部4年 徳田佳那)

閉館



社会科学系 図書館

12号館

閉館

新図書館として
一体化されます

人文科学系図書館 6号館

学生の
コメント



人文科学系図書館は、あまり広くないスペースだからこそ、居心地が良く落ち着いた気持ちで読書や勉強に専念できました。西書庫の机でレポート作成の傍ら、お気に入り作家の全集を読む時間が穏やかで大好きでした。
(文学部3年 諸澤玲奈)

5階は閉館、
1階は
10月30日
閉館



池袋キャンパス図書館 の歴史

- 1919年 図書館本館旧館 開館
メーザーライブラリー (Mather Library) (図書館本館旧館) がサミュエル・リビングストン・メーザー (Samuel Livingston Mather) 氏とその子息からの全面的な資金援助により竣工。
- 1923年 関東大震災により妻壁上部に亀裂。控え柱の崩落など大きな被害を受ける。
- 1925年 復興改修工事完成
- 1960年 図書館本館新館 開館
丹下健三氏の設計。
- 2000年 メディアライブラリー開館
- 2001年 4月 自然科学系図書館 開館
- 2001年 10月 社会科学系図書館 開館
- 2002年 4月 人文科学系図書館 開館
- 2012年 9月22日 池袋図書館 Pre-OPEN
(地上1階～3階の利用開始)
- 2012年 11月7日 池袋図書館 全館 Grand-OPEN